

令和6年度

西和賀の教育



西和賀町教育委員会

目 次

○ 教育行政	
1 令和6年度西和賀町教育行政の基本方針	1
2 教育委員・教育委員会事務局名簿	3
3 令和6年度教育委員会事務局機構図	4
○ 学校教育	
1 令和6年度西和賀町学校教育行政の基本方針及び指導の重点	5
2 令和6年度西和賀町教育委員会学校教育関係事業一覧	13
3 西和賀町教育委員会指定「授業実践交流会」実施要項	15
4 令和6年度西和賀町教育懇談会等実施要項	16
5 学校紹介	17
6 町立保育所（補助執行施設）紹介	21
7 令和6年度西和賀町教育関係施設	24
8 総合給食センター	25
○ 生涯学習・社会教育（芸術・文化振興、スポーツ振興）	
1 令和6年度生涯学習・社会教育行政の基本方針	26
2 令和6年度事業計画	27
3 指定文化財一覧	31
4 生涯学習関係者名簿	32
○ 資料編	
1 歴代教育委員会委員長、教育長、委員名簿	35
2 令和6年度西和賀町教育委員会関係事業予定表	37

令和6年度 西和賀町教育行政の基本方針

西和賀町教育委員会は、「第2次西和賀町総合計画」が掲げる目標「地域に誇りを持ち、豊かな心を育てるまち」に基づき、「生涯学習」、「学校教育」、「生涯スポーツ」、「歴史や文化」の4つの分野ごとに教育行政施策の具体的な取組を進めて参りました。今後も関係する皆さんと協力・連携を図り、しっかりと教育行政の推進に努めて参ります。

第1 生涯学習の推進と環境づくり

人生100年時代と言われています。生涯の全てのステージにおける学びが大切であることから、生きがいとやりがいを育てる学習を支援して参ります。

主体的に学び続ける学習活動の充実を図ります。「町民大学講座」、「高齢者大学講座」、「まちづくり出前講座」等を継続し、新たな知識の習得や参加者の交流を通して学ぶ楽しさを感じてもらえるよう支援します。併せて、男女共同参画推進サポーターや読書ボランティアなど講座受講者の活躍できる場を創出します。

想像力・思考力を育む読書活動は、特に子ども達にとって好影響があることから、小学生や就学前の子ども達を対象に読み聞かせや読書会の開催を推進します。話題の新刊図書の他、自己啓発と生きる喜びを感じえるスポーツ誌やマンガ類の配架の検討を行い、より気軽に利用できる場所となるよう努めて参ります。

学校を支え、地域で子どもを育てる「教育振興運動」の推進については、引き続き地域コーディネーターを配置し、各「実践班」と連携した取組を通じて、子どもたちに郷土への誇りと絆を育みます。

第2 未来を担う子どもたちの生きる力を育む学校教育

令和6年度は、進む少子化の中にあっても、学校・保育所・保育園が、子ども達の夢や目標の実現と、支える全ての方々の希望の場となるように、以下の6点を中心に取り組んで参ります。

①確かな学力の育成

学習に主体的に取り組む態度を育てるために、各校のICT機器の充実と活用、指導主事の派遣、外国語指導助手等の人的支援を継続し、子どもたちの教育環境の整備に努めて参ります。また沢内小学校を公開校に指定し、読解力、表現力に視点を当てる研究を進め、全ての先生方の授業力と子どもたちの学力の向上を図ります。

現在の保育指導は、小学校につなぐ学びの準備も求められその役割も多様化していることから、先生方に「いわて幼児教育センター」等での研修を積極的に受けられる機会を作ります。併せて「子どもの笑顔が全ての人を結ぶまちづくり」をコンセプトとした「西和賀町第三期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、保育サービスの向上に努めて参ります。

②地域と共に作る豊かな心の教育

町の自然や文化、歴史と産業、そして多くの方々と豊かに関わる教育は、一生の財産となります。そこで、町の基幹産業である林業や農業、町の観光業等の多様な職場を知る体験活動を推進し、町の魅力再発見と自己実現を後押しするキャリア教育の充実にも努めます。

小・中学校での演劇と学校が継承している地域文化等の交流や、2つの中学校による「中学生議会」の共同開催をするなど、地域に主体的に関わる体験を推進します。

③教職員の働く環境

今年度策定した「プラン」の下、時間外勤務の縮小と教職員の「やりがい」を指標として取り組み、子ども達に向き合える時間の確保に努めます。また、中学校の部活動においては常設部のほか、特設部についても部活動指導員を配置し、質の高い指導と教職員の負担軽減を図ります。

④安全安心な教育

小中学校に特別支援教育支援員及び中学校に教育相談員を配置し、児童生徒が安心して学べる学習環境を作り努めます。医師や保健師、学校等で組織した「教育支援委員会」を年4回開催し、子ども達や保護者の皆さんの困り感の軽減と適切な就学環境の実現を図ります。また、子どもたちの健康に関わる調査・研究を続けている「学校保健会」の活動の充実を図り、子どもたちが自ら健康を守る活動を支援します。

⑤西和賀高校の魅力化

これまでも同校の生徒確保のため魅力化支援に取り組んできましたが、今後も少人数指導、習熟度別授業を支援するとともに、公営塾や語学研修、ユキノチカラ協議会等の地元の協力を得た探究活動の充実、各種テストや検定、通学や昼食補助等を継続し、生徒の目指す国公立大・私大への進学や就職を支援して参ります。生徒の主体性を育む西和賀高校の魅力を広く発信し、県内外から志願者の募集に努め、町の活性化につながるよう活動して参ります。

⑥保育と学校教育のあり方

保育所と学校の「あり方検討委員会」の検討結果に基づき町の方向性を示し説明会を開催します。本町の教育を取り巻く環境を共有し、広く意見等を伺い、これからの西和賀町の保育と学校教育の方向性、併せて教育環境のあり方を構築して参ります。

ここに生まれ育った子どもたちが、これから迎えるどんな社会にでも、町の教育によって希望をもって力強く生き抜けるよう最大限の努力をして参ります。

第3 誰もが参加できる生涯スポーツの振興

スポーツ振興では、町民が生涯にわたりスポーツに親しむ環境整備と機運の醸成を図り、「健康で活気あふれるまちづくり」に取り組みます。各種目の競技力向上と世代間の交流及び地域の絆を深めていけるよう取り組んで参ります。

クロスカントリースキー大会や沿線中学校野球大会の開催と、各種目単位協会が主催するスポーツイベントの実施を促進し、町内外のチームや選手が競い合い、技術力向上を図ります。また、町体育協会と連携し指導者養成機会の拡充とスポーツ推進委員による誰もが参加しやすいニュースポーツの普及を図り地域の活性化に努めます。引き続き地域スポーツコーディネーターを配置し、地域部活動の推進と、町のスポーツ活動を支える地域スポーツクラブの活動体制について検討して参ります。

第4 地域の歴史や文化の継承と創造

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、多くの方々が文化芸術に親しむ機会が戻りつつあります。この間、文化施設の改修や整備を行いました。今後も地域の方々の心豊かな生活を実現のため活動を推進して参ります。

令和6年3月に舞台照明設備の改修を終えた文化創造館「銀河ホール」においては、町の芸術文化協会やギンガク実行委員会と連携し、文化・芸術の普及と伝承、そして演劇活動を中心に若い方々を呼び込む活動の機会を創出する場として活用を図って参ります。また、関連する諸団体と協力し開館30周年を記念した企画や常設公演を行うとともに「かわまちづくり事業」とも連携し、地域の方々の集いの場となるよう取り組んで参ります。

文化財については、関係する大学や諸団体の協力を得て適正な保護と管理に努めます。

文化芸術は心豊かな生活を実現していく上で大切なものであり、地域の方々の誇りやアイデンティティを形成する社会的財産です。また地域の独自性も発揮できることから関係人口創出にも大きな影響力があります。今後も文化芸術の振興に向け、積極的に推進して参ります。

(令和6年度教育方針演述要旨編集)

教育委員・教育委員会事務局 名簿

【教育委員】

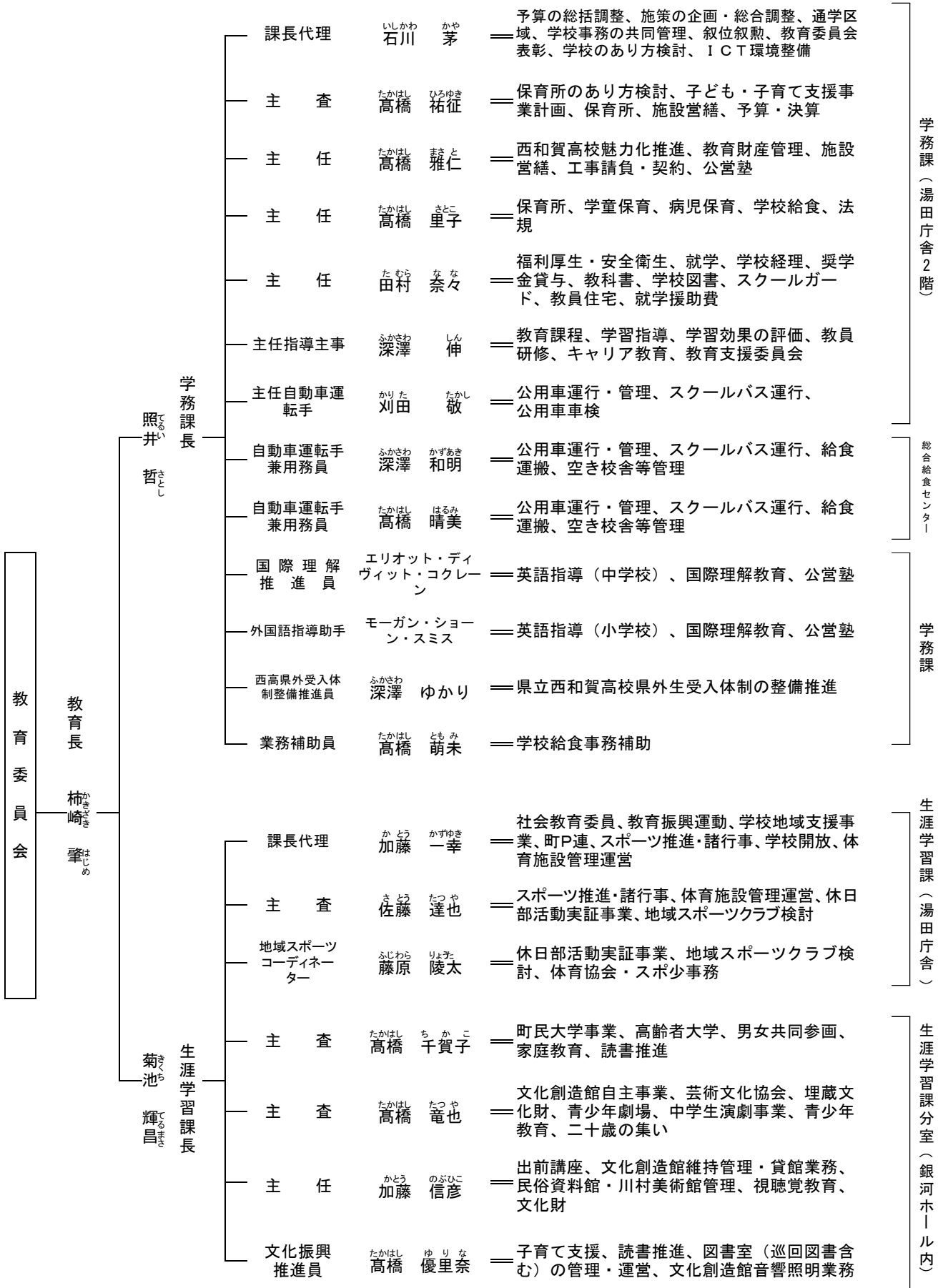
職 名	氏 名
教 育 長	柿 崎 肇
教育長職務代理者	深 澤 武 志
教 育 委 員	平 藤 壽 子
教 育 委 員	加 藤 和 夫
教 育 委 員	廣 田 宏

【教育委員会事務局】

学 務 課		生涯学習課	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
課 長	照 井 哲	課 長	菊 池 輝 昌
課長代理	石 川 茅	課長代理	加 藤 一 幸
主任指導主事	深 澤 伸	主 査	高 橋 千賀子
主 査	高 橋 祐 征	主 査	佐 藤 達 也
主 任	高 橋 雅 仁	主 査	高 橋 竜 也
主 任	高 橋 里 子	主 任	加 藤 信 彦
主 任	田 村 奈 々	地域スポーツコーディネーター	藤 原 陵 太
主任自動車運転手	刈 田 敬	文化振興推進員	高 橋 優里奈
自動車運転手兼用務員	深 澤 和 明		
自動車運転手兼用務員	高 橋 晴 美		
西高県外受入体制整備推進員	深 澤 ゆかり		
国際理解推進員	エリオット・ディヴィット・コクレン		
外国語指導助手	モーガン・ショーン・スミス		

令和6年度 教育委員会事務局 機構図

令和6年4月1日



学 校 教 育

令和6年度 西和賀町学校教育行政の基本方針及び指導の重点

【基本方針】

- 1 西和賀で、世界で活躍する人材の育成 ①②
- 2 確かな学力の育成 ③④⑤
- 3 豊かな心の育成 ⑥⑦⑧
- 4 健やかな体の育成 ⑨⑩⑪
- 5 特別支援教育の推進 ⑫⑬
- 6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応 ⑭⑮⑯
- 7 学びの基盤づくり ⑰⑱⑲



【指導の重点】

① 「いわての復興教育」の推進	各校の実情に合わせ、地域人材等を活用した防災教育の充実
② キャリア教育の充実	児童生徒の発達段階に応じた「総合生活力」「人生設計力」の育成
③ 主体的に学ぶ児童生徒の育成	つまずきを生かした授業改善
④ 学校の組織的な取組	教科横断的なカリキュラム・マネジメント
⑤ 学校段階間の円滑な接続	各学習指導要領を踏まえた継続的な教育課程の編成
⑥ 道徳教育の充実	学校教育全体で行う道徳教育
⑦ 人権教育の推進	人権が尊重される学校・学級・授業づくり
⑧ 西和賀の特色を生かした体験的な学び	まちづくりの理念「結」の精神
⑨ 学校体育の充実	豊かなスポーツライフの充実
⑩ 適切な部活動体制の推進	部活動体制への共通理解
⑪ 健康教育の充実	現代的な健康課題への対応
⑫ 西和賀版「個別的教育支援計画」の活用	就学から卒業までの一貫した支援の充実
⑬ 各校種における指導・支援の充実	多様なニーズへの対応
⑭ いじめ問題への対応	いじめ事案への適切な対応
⑮ 不登校対策	不登校対策の推進
⑯ 生徒指導の機能を生かした教科指導等	わかる授業の実践
⑰ 家庭・地域との協働による学校経営	特色ある学校経営の創造
⑱ 創意ある教育課程の編成・実施	教育課題の解決に向けた研修の充実と研究の推進
⑲ 学校安全の確実な推進	児童生徒の安全を保障するための地域と連携した環境整備

I 西和賀で、世界で活躍する人材の育成

柱1

①「いわての復興教育」の推進

各校の実情に合わせ、地域人材等を活用した防災教育の充実

- (1)「いわての復興教育プログラム」の活用
- (2)地震や台風・水害等の自然災害に対し、避難訓練と併せて、日頃の備えや災害等に対するべき行動などにおいて学ぶ機会を設ける等、実践的な（土砂災害、川舟断層等）取組の充実を図る。

※西和賀町ハザードマップの活用

- (3)修学旅行等の校外学習を通して、他地域における復興や防災への取組をこれまでの知識や経験と比較したり関連付けたりすることにより、さまざまな困難に対する問題解決意識や取組を更に深め発展させる。

柱2

②キャリア教育の充実

児童生徒の発達段階に応じた「総合生活力」と「人間設計力」の育成

【総合生活力（構成要素）】

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

【人生設計力（構成要素）】

「社会を把握する能力」「勤労観・職業観」「将来設計力」

- (1)町内の保・小・中・高連携の推進及び実態理解・学力保障
- (2)勤労体験や職場見学・体験等の体験的な活動を通して「人生設計力」の基礎を築くとともに、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。
- (3)西和賀高等学校生徒による出張授業における「西和賀 まち・ひと・しごと 魅力図鑑」の活用
- (4)西和賀町「キャリア教育全体構想図」を基にした発達段階に応じた指導

関連事業 会議等

復興教育の充実、地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業、通学路安全推進会議、ジョイントスクール授業研究会、キャリア教育推進協議会、勤労体験・職場体験学習、教務主任会議、（研究主任会議、生徒指導主事会議）[キャリアパスポート]

2 確かな学力の育成

柱1

③主体的に学ぶ児童生徒の育成

- つまづきを生かした授業改善
- (1) 外部試験や検定等(全国学調、県学調、CRT、英検、数検等)の結果を指導や評価の振り返りの視点として活用し、授業改善につなげる
- (2) 主体的に課題解決に取り組めるような学習活動の充実
- (3) ICT の日常的な活用による授業改善

柱2

④学校の組織的な取組

- 教科横断的なカリキュラム・マネジメント
- (1) 読解力の育成を図るための言語活動の充実
- (2) 学習評価の改善(指導と評価の一体化)のための指導計画作成
- (3) 学校図書館の計画的利用と機能の活用(特別活動、国語科等)
- (4) 授業内容の理解を促進する計画的な家庭学習
- (5) 「確かな学力育成プラン」を基にした各学校の検証改善サイクルの構築

柱3

⑤学校段階間の円滑な接続

- 各学習指導要領を踏まえた継続的な教育課程の編成
- (1) 生活科を中核とした合科的・関連的な指導(小学校:スタートカリキュラム)
- (2) 指導法の保小中高連携例 英語
- 中: 演繹的な指導
説明・練習 → 言語活動
(文法を教える) → (文法を使う)
- 小: 帰納的な指導
言語活動 → 気付き → 以下中と同じ
- (文法を引き出す) → 気付き → 以下中と同じ
- ※滑らかな指導法の接続へ
- ※異校種間における授業参観(小・中、中・高等)
- ※校種間連携におけるALTの活用

関連事業 会議等

研究主任会議、知能検査・学力検査(CRT)、英検・数検/算検補助事業、スタートカリキュラム、相互乗り入れ授業研、沢内小学校授業実践交流会(教務主任会議、ジョイントスクール授業研究会)〔全国学調、県学調、「確かな学力育成プラン」「GIGA スクール構想」〕

3 豊かな心の育成

柱1

⑥道徳教育の充実

学校教育全体で行う道徳教育

(1) 道徳教育の要となる道徳科の授業の充実(年間計画及び別葉の見直し)

(2) 道徳教育が効果的に展開できる支持的風土を子どもたちが自らつくることができるようにするための、特別活動の推進

(相互理解のための一人ひとりの考えが見える掲示の工夫(教室、廊下等)等の環境づくりも含む)

柱2

⑦人権教育の推進

人権が尊重される学校・学級・授業づくり

(1) 今日的な課題に対応した取組(多様性を包摂する視点を持ち、児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育)

(2) 相手を大切にした聞き方・話し方の指導

(3) 人権作文・ポスター、福祉作文等への積極的な取組

柱3

⑧西和賀の特色を生かした体験的な学び

まちづくりの理念「結」の精神

(1) 生活体験や社会体験、自然体験等、豊かな道徳的体験活動を充実させ、思いやりの心や規範意識、協調性、責任感、感性など豊かな人間性を育む。

(2) 一人ひとりが活躍する場の設定

(3) 地域の方をゲストティーチャーとする学習の場の設定

関連事業 会議等

生徒指導主事会議、各校領域授業研、心の教室相談員、地域ぐるみ学校安全体制整備事業、通学路安全推進会議、(ジョイントスクール授業研究会、相互乗り入れ授業研等、教務主任会議、研究主任会議、情報教育アンケートの活用、勤労体験・職場体験学習)〔人権作文・ポスター、福祉作文、(人権教育への理解を図る機会や研修)〕

4 健やかな体の育成

柱1

⑨学校体育の充実

豊かなスポーツライフの充実

- (1) 地域の特性を生かし、児童生徒の発達段階に即した計画的・継続的な体力づくりの推進
- (2) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査、生活習慣及び運動習慣（60プラスプロジェクト推進事業）の取組結果を基にした、児童生徒の健康に対する意識の向上への取組

柱2

⑩適切な部活動体制の推進

部活動体制への共通理解

- (1) 部活動指導員との連携
- (2) 合同トレーニングの推奨
- (3) 関係機関（生涯学習課、町体協、各種競技団体等）との連携

柱3

⑪健康教育の充実

現代的な健康課題への対応

- (1) 健康診断の事前・事後指導の徹底を図るなど、健康教育の基礎を築くための指導の充実
- (2) 学校保健会との連携による個に応じた課題を解決するための具体的な指導方法の工夫
 - ・ ICT 活用における健康への影響
 - ・ 肥満予防・改善 等

関連事業 会議等

諸健康診断・検診、諸調査、町学校保健会、〔全国体力・運動能力、運動習慣等調査〕・取組〔60プラスプロジェクト推進事業、カミカミ運動等〕

5 特別支援教育の推進

柱1

⑫教育支援委員会としての更なる機能の拡充

就学から卒業までの一貫した支援の充実

(1) 教育上特別な支援を必要とする児童生徒等に関する、教育上必要な支援の内容等についての助言、援助等

・児童生徒等への、教育上必要な支援の内容等を判断することが困難な場合における、就学の決定に関する助言

・就学後の、「学びの場」における必要な支援の内容等及び適切な就学を図るために必要な事項についての助言

(2) 就学から卒業までの一貫した支援のための児童生徒の基礎的な情報をまとめた資料の活用と保・小・中・高における継続した支援

柱2

⑬各校種における指導・支援の充実

多様なニーズへの対応

(1) 校内教育支援体制の充実と、各関係機関との連携を密にした適切な教育支援の推進

(2) 特別支援教育支援員の配置による特別な支援を要する児童生徒の在籍する通常学級における指導の充実

(3) 言語に関する児童の個別指導の充実と幼児の言語に関する教育相談の充実

(4) 特別支援教育エリアコーディネーターの活用、花巻清風支援学校との連携

(5) 特別な支援を要する児童生徒への計画的な指導の推進における、特別支援教育コーディネーターの共通理解の場の設定

関連事業 会議等

特別支援教育支援員配置事業、教育支援委員会、就学時健診、言語巡回指導、特別支援教育コーディネーター連絡会

6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応

生徒指導上の個別の課題に対する学校の組織的な対応に係る情報の引継

柱1

⑭いじめ問題への対応

いじめ事案への適切な対応

- (1) 各校における「学校いじめ防止基本方針」に基づく、組織的かつ積極的ないじめの認知と速やかな報告
- (2) 家庭、地域社会・関係機関との連携による適切な指導
- (3) 児童会・生徒会の主体的な取組
例) やさしい言葉を使おう

柱2

⑮不登校対策

不登校対策の推進

- (1) 全職員共通理解のもと、意図的・継続的な指導と関係機関との連携による「心の問題」を抱える児童生徒の早期発見・早期対応
- (2) 一人ひとりが活躍する場の設定(再掲)
- (3) 健康福祉課等関係機関との連携
- (4) SC,SSW の活用
- (5) 不登校等支援が必要な児童生徒のための組織的・計画的な情報共有と引継【参考様式: 児童生徒・教育支援シート】

柱3

⑯生徒指導の機能を生かした教科指導等

わかる授業の実践

- (1) 安心して自分の考えを自由に言える学級経営の充実
- (2) 多様な考えを認め合う授業展開の工夫
- (3) わかる授業による主体的な学習態度の育成
- (4) 言語活動の充実による言語力の育成
- (5) 情報教育アンケートの実施と分析を生かした情報モラルに関する指導

自己指導力の育成

関連事業 会議等

心の教室相談員配置事業、情報教育推進事業、西和賀町いじめの状況等の報告様式、不登校等支援が必要な児童生徒のための組織的・計画的な情報共有と引継【参考様式: 児童生徒・教育支援シート】(教務主任会議、研究主任会議、生徒指導主事会議) [コミュニティ・スクール、心とからだの健康観察]

7 学びの基盤づくり

柱1

⑰家庭・地域との協働による学校経営

特色ある学校経営の創造

- (1) 地域との交流、学校開放や地域の人材活用等を一層進め、開かれた学校づくりと「まなびフェスト」を中心とした特色ある学校づくりの推進
- (2) 学校としてのねらいに基づいたカリキュラム・マネジメントの推進及び実践
- (3) 学校や地域の実態に応じた独自の危機管理対策の構築（再掲）
- (4) PDCA サイクルに沿った学校運営の推進
 - ・コミュニティ・スクールの導入・運営
 - ・「確かな学力育成プラン」（再掲）

柱2

⑱創意ある教育課程の編成・実施

教育課題の解決に向けた研修の充実と研究の推進

- (1) 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成
- (2) 各校の研究課題に沿った理論研究、授業研究会に基づいた研究・研修
- (3) 研修会、学校公開、町外視察等への積極的な参加による、研修・研究成果の交流と実践化

柱3

⑲学校安全の確実な推進

児童生徒の安全を保障するための値域と連携した環境整備

- (1) スクールガードとの連携による児童・生徒の安全確保
- (2) 通学路の合同点検を実施及び対策についての協議
- (3) 学校安全計画に基づいた、危機管理マニュアルの検証・改善（事故発生時の緊急体制及び連絡体制の充実含）

関連事業 会議等

校長会議、副校長・事務職員研修会、教育懇談会、学校運営協議会、まなびフェスト、（教務主任会議、研究主任会議、生徒指導主事会議、地域ぐるみ学校安全体制整備事業、通学路安全推進会議）〔「確かな学力育成プラン」、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）〕

令和6年度 西和賀町教育委員会学校教育関係事業一覧

西和賀町教育委員会学務課

方針	重点	事業・会議名	期 日 等	主 な 内 容
1 2 3	①	復興教育の充実 (防災教育の継続)	年 間	日常生活とつながる防災の取組 西和賀町ハザードマップの活用
	② ⑤ ⑧	キャリア教育会 推進協議会	5 ・ 2 月	職場体験・見学の推進 「西和賀 まち・ひと・しごと魅力図鑑」の活用
		ジョイント・スクール 授業研究会	各校区年3回	管内の保小・小中連携の推進及び実態理解・学力保障
		研究主任会議	4 ・ 2 月	研究推進計画の共有
	③ ④	知能検査・学力検査	12 月	町内児童生徒の学力の実態把握と対策
	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	英検・数検/算検補助事業	年 1 回	英語(中)、算数・数学検定(小・中)への検定料補助
		情報教育推進事業	6 月	情報教育アンケートの実施と分析
		A L T 派遣事業	当該校指定日	保小中学校へのA L T派遣
	⑨ ⑩ ⑪	諸健康診断・検診 諸調査・取組	各校の計画による	諸々健康診断・検診結果と体力テスト、60プラスプロジェクト等の結果を関連させた健康教育の実施 現代的な健康課題への対応
		中学校部活動指導員配置事業	平日2時間×3日＋土日3時間	教職員の指導負担軽減及び適切な練習時間の確保
5		特別支援教育支援員 配置事業	年 間	特別支援を必要とする児童生徒のニーズに応じた個別指導の実施 支援員研修
		教育支援委員会	7 ・ 9 ・ 11 ・ 2 月	教育上特別な支援を必要とする児童生徒等の就学先決定時のみならず、就学先決定後の学校生活における支援の内容等についての調査審議、助言の充実
	⑫ ⑬	西和賀版「個別の教育支援計画」	年 間	就学から卒業までの一貫した支援の充実 (教育支援委員会の考え方、引継ぎ時での特化でなく、一貫した支援のため)
		特別支援教育コーディネーター連絡会	4 月	児童生徒への適切な教育支援の推進のため、特別支援教育コーディネーターが支援・指導の流れについての共通理解
6	⑭ ⑮ ⑯	生徒指導主事会議	4 ・ 7 ・ 12 月	生徒指導、いじめの積極的認知と組織的な対応、いじめの状況等報告【西和賀町様式】の活用、長期休業中の児童生徒の安全確保
		心の教室相談員配置事業	年 間	教育相談員として「心の教室相談員」を配置
7	⑰ ⑱ ⑲	校長会議	隔 月	学校運営に関わる事項の共通理解
		副校長・事務職員研修会	4 月	学校運営に関わる副校長・事務職員として研修等
		教務主任会議	4 ・ 2 月	教育関係事業、教育課程編成の計画・反省

7	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱	教 育 懇 談 会	7 ・ 11 月	校長会と教育委員との懇談会
		地 域 ぐ る み 学 校 安 全 体 制 整 備 推 進 事 業	年 間	スクールガードとの連携による児童・生徒の安全確保
		通 学 路 安 全 推 進 会 議	7 月 ・ 12 月	通学路の合同点検を実施しその対策について協議する
		授 業 力 向 上 研 修	1 回	教育上の諸課題について研修
		町 内 着 任 教 職 員 研 修	4 月	町内の施設等体験・見学
		相 互 乗 り 入 れ 授 業 研	各校の計画による	他校の参観可能な校内授業研究会へ参加
		町 外 視 察 研 修	指 定 校 の 計 画 に よ る	町外先進校への視察研修 及び公開研究会への参加
		授 業 実 践 交 流 会	実施計画に沿って実施 (R5指定 R6実施)	各校校内研究の授業公開・分科会

西和賀町教育委員会指定「授業実践交流会」実施要項

1 趣 旨

児童生徒の確かな学力を育成するために、教育研究指定校を指定し、その研究の成果を交流することで町内小中学校の教育の推進に資する。

2 授業実践交流会の実施

指定校は、2年間の指定を受けて、2年目に授業実践交流会を実施する。

町内4校の指定は、5の計画に従う。

3 授業実践交流会における実践提案指定校の運営

- (1) 指定校は、学校の研究主題に沿った授業実践提案を行うための推進体制を整備し、計画的・継続的に課題解決に向けた実践的授業研究を進めるものとする。

※教育研究指定校連絡会議【新規】実施（1・2年目指定校悉皆）

- (2) 指定校は、事業計画を策定後、経費の申請をして、事業運営費とする。(H28～)
- (3) 授業実践交流会の期日は、西和賀町教育委員会と協議のうえ決定する。
- (4) 授業交流会の案内は、中部教育事務所管内小・中学校とし、紙媒体を教育委員会経由で発送する。県内小・中学校には、西和賀町教育委員会が岩手情報交流ネットを通して送信する。

4 授業実践交流会の原則

- (1) 児童生徒の実態を踏まえ、学校目標及び方針を柱とした研究主題を設定する。
- (2) 学校の研究主題に沿った授業実践提案を行う。
- (3) よりよい実践に向けての提案授業で問題提起を行い、協議を通じた学びの機会と位置づける。

5 授業実践交流会の実施計画

実施年度	H31・R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
公開校	湯田小	なし	(へき研)	なし	湯田中	沢内小	沢内中	湯田小
指定	なし	なし	(へき研)	湯田中	沢内小	沢内中	湯田小	なし

令和6年度 西和賀町教育懇談会等実施要項

1 目 的

学校と教育委員が学校の教育環境や学校経営の状況、当面する教育上の諸問題を共有するとともに、課題解決の方向性を確認することなどを行う。

2 内 容

- (1) 授業参観
- (2) 学校の状況についての情報交換

3 時 間

- (1) 授業参観・・・45分～50分程度（各学級の状況について）
- (2) 情報交換・・・30分程度

4 訪問形態

教育委員会（教育委員及び教育委員会学務課職員）による訪問（懇談会）

5 訪問計画

訪 問 形 態	実 施 期 日	訪 問 実 施 校
教育懇談会	7 月 1 日（月）	湯田中学校
	11月20日（水）	沢内中学校

6 教育懇談会年度計画（予定）

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問実施校	湯田中学校	湯田小学校	湯田中学校
	沢内中学校	沢内小学校	沢内中学校

7 その他

- (1) 西和賀町校長会の研修日とあわせて実施する。
- (2) 授業参観は、原則として全学級とし、児童生徒や教職員の状況を把握したうえで懇談を実施する。
- (3) 懇談においては、学校における課題を共有し、具体的な課題対応のための方策についても話題とする。

5 学 校 紹 介

(1)西和賀町立湯田小学校 (平成23年4月1日開校)

校長 大 内 明

(令和5年4月1日着任)

〒029-5503 和賀郡西和賀町湯田20-57-7



学 年	1	2	3	4	5	6	特別 支援	計	通 級 ことば
人 数	9	16	12	13	10	9	2	71	(2)
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	(1)

TEL 0197-84-2816

FAX 0197-84-2826

E-mail qqte2e29k@bridge.ocn.ne.jp

【学校教育目標】ふるさとに誇りをもち、夢や希望に向けて挑戦する子どもの育成

めざす学校像

- ◇ 学ぶ喜びにあふれた学校
- ◇ 温かいふれあいのある学校
- ◇ 明るく規律ある学校
- ◇ 清潔な学校
- ◇ 開かれた学校

め ざ す 児 童 像

- か し こ く
(進んで学ぶ子ども)
- あ た た か く
(心の豊かな子ども)
- た く ま し く
(健康でたくましい子ども)

めざす教職員像

- ◇ 教育に携わる者としての責務を自覚し、熱意と使命感にあふれた教職員
- ◇ 子どもを信頼し、子どもから学ぼうとする教職員
- ◇ 常に自分を高め、磨き合う教職員
- ◇ 心身ともに健康で、明るく協力し合う教職員
- ◇ 家庭を理解し、地域にとけ込む教職員

学校経営方針・重点

◎学校教育目標の達成、並びに「いわての復興教育」の充実をめざし、学校・家庭・地域が協働して、創意ある教育活動を展開していく。

〈家庭でしつけ・学校で学び・地域できたえる〉

- 1 基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させ、活用できる力を育成する授業を追求する。(授業実践と交流)
- 2 互いに思いやり、磨き合いながら高まろうとする集団を育成する。
- 3 学習への意欲を支え、ねばり強く取り組む健康な心と体を育てる。
- 4 郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成する体験活動を充実する。
- 5 開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域の信頼関係の醸成を図る。
- 6 子どもたちが安心して、のびのびと学び合える教育環境を充実する。

光る空に みんなでえがこう

あしたの希望 自由な夢

湯田の空は 世界につながる 大きな空 【校歌より】



職 名	氏 名
校 長	大 内 明
副 校 長	八 重 樫 誉 子
教 諭	小 原 明 子
教 諭	笹 川 修 一
教 諭	金 澤 淳 子
教 諭	後 藤 幹 晶
教 諭	尾 形 一
教 諭	飯 野 智 健
教 諭	門 屋 ま ゆ み
教 諭	小 林 美 希 子
教 諭	高 橋 亜 友 美
養 護 教 諭	有 馬 美 保 子
栄 養 教 諭	中 野 千 春
主 事	斉 藤 美 咲
上席調理員兼用務員	佐々木 真 由 美
学 校 用 務 員	佐々木 晴 彦
特別支援教育支援員	高 橋 順 子
特別支援教育支援員	藤 島 聖 子



学年	1	2	3	4	5	6	特支	計
人数	8	5	12	10	11	7	3	56

【学校教育目標】

『夢と希望にあふれ、共に伸びる沢内っ子の育成』		
まなぶ子	やさしい子	あかるい子

【めざす子ども像】

「命輝く教育」の実践

「夢と希望にあふれ、共に伸びる沢内っ子」

まなぶ子	やさしい子	あかるい子
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、学ぶ喜びを共有する子 ・基礎的・基本的な知識や技能をきちんと身に付ける子 ・読書に進んで取り組む子 ・地域を知り、地域に学ぶ学習に進んで取り組む子 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良く助け合い、励まし合い、心のつながりを喜ぶ子 ・さわやかなあいさつができる子 ・働くことに喜びをもち、進んで行動できる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を楽しみ、じょうぶな心と身体をつくる子 ・けがや病気、危険から身を守る子 ・生活習慣が確立している子

【学校経営の基本方針】

公教育の趣旨の下、地域社会の実情と児童の実態を踏まえた新しい時代に生きるためのすぐれた知性・徳性・体力の調和のとれた児童の育成を目指し、活力のある学校経営を推進する。

- 1 PDCAサイクルに基づいた目標達成型の学校経営を推進し、併せて保護者・地域住民との目標の共有を図り、協働による目標達成に努める。
- 2 子ども一人一人への共感的理解を深め、子どもと子ども、子どもと教師の望ましい人間関係を確立しながら、確かな学力の定着と豊かな人間性の形成に努める。
- 3 保護者や地域社会の理解と協力を得ながら、地域に根差した教育活動を推進する。

【めざす学校像】

「喜びを生み出す学校・地域とつながる学校」

- 安心して生活できる学校
- 授業を大切にする学校
- ふれあいに満ちた学校
- 清々しい学校
- 開かれた学校



職 名	氏 名
校 長	熊 澤 裕 樹
副 校 長	大川原 章 郎
主 任 主 査	細 川 美 香
教 諭	大 江 匡
教 諭	高 橋 暢 子
教 諭	山 田 久 蔵
教 諭	高 橋 暁
教 諭	上和野 裕 貴
教 諭	富 澤 健 太
教 諭(再)	高 橋 幸 子
養護教諭(再)	石 川 眞由美
講 師	高 橋 美由紀
主任調理員兼用務員	高 橋 恵美子
特別支援教育支援員	久 保 隆 一
特別支援教育支援員	内 記 瞳



西和賀町立湯田中学校

学 年	1 A	2 A	2 B	3 A	3 B	合 計
人 数	1 2	1 5	1	1 2	1	4 1

校長 福 井 慎 二（令和6年4月1日着任）
〒029-5512 和賀郡西和賀町川尻40-190-37
TEL 0197-82-3105 FAX 0197-81-1010
E-mail yudajhs@eos.ocn.ne.jp
<創立年月日 昭和44年4月1日>

湯田中学校は **ぬくもり** と **かがやき** のある学校をめざします。

学校経営の概要

教育目標	学校経営方針	経 営 の 重 点	まなびフェスト
より高く（知） 意欲的に学び基礎 基本を身につける	1 確かな学力の定着 2 特別支援教育の充実	ア 授業改善をとおして「わかる授業」を行うことに努め、生徒一人一人に応じた学力向上を図る。 イ 基礎的・基本的な知識・技能の習得並びに思考力・表現力の育成を図るため、「見通し」・「課題解決」・「振り返り」の時間を授業において位置づける。 ウ 授業と家庭学習を連動させ、計画を立てて取り組ませる。 ア 支援を必要とする生徒の困り感に寄り添う支援体制を整え、と共に、特別支援教育についての教員の専門性を向上させる。	★「授業がよくわかる、どちらかといえばよくよくわかる」段階の生徒の割合を70%以上にします。 ★計画をきちんと立てて 家庭学習に取り組む生徒の割合を80%以上にします。 ★各種検定の受検を奨励し、卒業までに一人一資格以上を取得させます。
よりたくましく（体） 心身を鍛え 積極的に行動する	3 健やかな心身の育成	ア 計画的・継続的に体力の向上に努める。 イ 保健安全に関する学習を積極的に取り入れ、自らの心身についての意識を高め、健康で安全な学校生活を送ることができるように努める。 ウ 望ましい食習慣を育む食育を推進する。	★走力・持久力の向上に努め、自己の運動能力診断テストの記録を上回る生徒の割合を50%以上にします。 ★健康に関する学習を積極的に行い、自分の健康への意識を高めます。（学年別重点指導、歯のブラッシング指導等）
より豊かに（徳） 物事の是非を正しく 判断し行動する	4 豊かな人間性の育成	ア 自他の生命を尊重し、思いやりの心など、豊かな心を育む教育を推進する。 イ 様々な体験活動を通して、思いやりの心や規範意識、協調性などを育成する。 ウ 諸行事や部活動などの活動を通じて、生徒一人一人に目標を持たせ、所属感や達成感を高め、好ましい人間関係を築かせる。 エ 学校不適応や問題行動に関する指導体制を整え、その未然防止に努める。	★ボランティア活動や清掃活動など心を磨く活動に積極的に取り組みます。 ★いじめ防止のための取り組みを、生徒会等を中心に行います。
地域に開かれた学校	5 保護者と地域に信頼される教育の推進	ア 保護者が安心して教育を託せるような安心安全な環境づくりに努める。 イ 校報や学級通信などを通じて積極的に情報発信を行うとともに、様々な機会を通じて情報受信にも努める。 ウ 保護者、地域住民、関係機関との連携強化、地域行事などへの参加や協力などを積極的に進める。 エ 故郷を愛し、その復興・発展を支えとともに、自らの未来を切り開いていくことのできる生徒の育成に努める。	★学校の情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域からの情報や声を積極的に収集し、教育活動の改善に努めます。 ★地域行事に積極的に協力します。

校 長	福 井 慎 二	特別支援教育支援員	新 田 佳 子
副校長	金 野 暁 二	特別支援教育支援員	高 橋 麻 美
教 諭	菅 原 敦 彦	心の教室相談員	高 橋 恵 子
教 諭	加 藤 純 子	学校用務員	家 子 知
養護教諭	小 山 佳 子	きめ細かな指導対応	八 重 樫 仁
教 諭	照 井 葉 子	きめ細かな指導対応	高 野 由 菜
教 諭	和 田 圭 市	きめ細かな指導対応	菊 池 香 澄
教 諭	佐 藤 圭 芳	きめ細かな指導対応	小 原 茂
教 諭	佐 々 木 肇	A L T	エリオットデイヴィットコクレーン
教 諭	下河原 哲 太	S C	遊 佐 洋 幸
教 諭	菊 池 雄 緒	S S W	小 岩 かおり
主 事	千 田 優 緒		



西和賀町立沢内中学校

規 模	4 学級 4 4 人			
学 年	1 年	2 年	3 年	特支3
人 数	9	14	20	1

校 長

佐藤克宏

〒029-5614 西和賀町沢内字太田 1-13

TEL 0197-85-2130 FAX 85-2138

創立年月日

昭和 4 7 年 4 月 1 日（4 中学校統合）

E-mail

sawauchi@crocus.ocn.ne.jp

教 育 目 標



「人間性の尊厳を自覚し、未来を見つめ目的意識を持ち
自ら考え、たくましく行動する生徒」の育成
すぐれた知性を培う たくましい気力・体力を鍛える ゆたかな心をはぐくむ

まなびフェスト

学校 教育目標	具体目標	学校や個々の取り組み	家庭での励ましなど
すぐれた 知性を 培う	◇90分以上学習する。 ◇毎日15分以上読書する。	◇Gアップノートを利用し、帰りの会の時間を使って毎日の学習計画を立て、実行する。 ◇家庭学習の取組方法を工夫する。 （内容を交流する等） ◇朝読書を毎日行うとともに、月2冊以上の読書を励行し、日常的に本に親しむ機会や環境をつくる。	◆学習の環境づくりに協力する。 ・学習時間はテレビを消す。 ・学習時間が90分以上確保されるよう声かけをする。 ・ゲーム等のメディアとの接触時間についてのルールを家族で話し合って決める。 ◆家族で読書に親しむなど、望ましい読書習慣の形成に協力する。
たくましい 気力・体力を 鍛える	◇体力向上に主体的に取り組む。 ◇健康な体を作るために規則的な生活リズムを身に付ける。	◇年間を通じて 運動 や合同 トレーニング で 体力向上に励む 。 ◇23時前の就寝を心掛け、7時間以上の睡眠時間を確保する。 ◇夏季は半袖、ハーフパンツ、冬季は防寒着を着用し、歯磨き、手洗いなど各自で体調管理、感染症対策に努める。	◆生活リズムを整える。 ・朝食の欠食なし ・睡眠時間の確保(23時前就寝・家を出る1時間前起床) ・歯みがき習慣 ・季節に応じた服装
ゆたかな 心を はぐくむ	◇自分から進んであいさつができるようにする。 ◇活動時間を意識して清掃活動に主体的に取り組む。	◇生徒会のあいさつ運動等への取り組みを通して、 場面に応じた返事やあいさつを行う 。 ◇校舎内外の美化に努めるとともに、身の回りの整理整頓 （机、ロッカー等） を心掛ける。	◆起床時、食事、外出や帰宅時などのあいさつや地域の方や来客へのあいさつを促すとともに、保護者が率先してあいさつする姿を見せる。 ◆身の回りの整理整頓を心がけさせる。

教 職 員

職 名	氏 名	分 担
校 長	佐 藤 克 宏	
副 校 長	佐 藤 浩 之	総務
教 諭	佐々木 佳 子	英語、1主、生徒指導
教 諭	高 橋 廉	社会、1担、ボランティア
教 諭	高 橋 由紀男	数学、2主、教務
教 諭	高 橋 通	保体、2担、生徒会、部活
教 諭	小 原 学	国語、3主、研究、相談
教 諭	寺 嶋 みづき	理科、道徳、3担、進路、生徒会
教 諭	石 田 一 志	技術、美術、特担、特支Co
主 任 主 査	櫻 庭 孝 子	庶務、会計
養 教（再）	高 橋 涼 子	保健主事
主任用務員	新 田 康 行	用務
非常勤講師	小 原 茂	音楽
非常勤講師	菊 池 香 澄	家庭
非常勤講師	笹 川 純 子	美術
特別支援教育支援員	米 澤 路	特別支援教育
特別支援教育支援員	鈴 木 なつみ	特別支援教育
心の教室相談員	村 上 順 子	心の教育相談
英語指導助手	エリカ・デ・イグナシオ・コロン	英語指導
SC	佐 藤 一 也	カウンセリング
SSW	小 岩 かおり	学校家庭間支援

令和 6 年度経営の重点

- 1.確かな学力の定着
(何がわかったか、何ができるようになったのかがわかる指導等)
- 2.地域に開かれた学校づくりの推進
(家庭・地域と共通理解を深め連携した取組の推進等)
- 3.目的を意識した総合的な学習の時間の実施
(探究的な見方・考え方を働かせた学習の実施等)
- 4.豊かな心の育成と生徒指導の充実
(自己肯定感を育てる、いじめへの迅速かつ組織的な対応等)
- 5.働き方改革への取組
(顧問 2 人制による負担軽減、部活動ガイドラインをもとにした取組の推進等)

年齢	0	1	2	3	4	5	計
人数	1	1	4	2	4	4	16

【保育目標】

たくましく こころ豊かに なかよく

【各年齢の目標】

年齢	主な目標	年齢	主な目標
0歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う	3歳児	保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事言いたいことを言葉や行動で表現する
1歳児	安心できる保育者との関係の下で、自分でしようとする気持ちが芽生える	4歳児	保育者や友だちと一緒にあそびながら、つながりを広げ集団としての行動が出来るようになる
2歳児	保育者との安定したかわりを通して、日常生活に必要なおおよそのことを自分でしようとする	5歳児	生活や遊びの中で、ひとつの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感をみんなで味わう。

【保育理念・保育方針】

一人ひとりの生きる力をより豊かにより強く育むために、こどもを取り巻く環境の変化に対応して、地域における子育て支援のために、子育てに関する相談に応じ、乳幼児の個々の能力を伸ばし心身を健全に育成する。

- 1 個々の子どもの置かれている状況及び家庭、地域社会における生活の実態を把握し、子どもを温かく受容し、保護・世話をし、子どもが安定感と信頼感をもって活動できるようにする。
- 2 子どもの発達について理解し子ども一人一人の特性に応じ、発達の課題に配慮する。
- 3 子どもの生活リズムを大切にし、生活の流れを安定させ、かつ調和のとれたものにする。
- 4 子どもが自発的・意欲的にかかわれるような環境の構成と子どもの主体的な活動を大切にすること。
- 5 個々の子どもの活動を大切にしながら、集団活動を効果あるものにするよう援助する。



【令和6年度 職員構成】

職 名	氏 名
所 長 (再)	黒淵 真貴子
副 所 長	藤原 加奈
主任保育士	高橋 瑠璃
上席主任調理員	佐々木 直子
会計年度任用職員	村上 理津子
会計年度任用職員	高橋 幸代
会計年度任用職員	藤原 順子
会計年度任用職員	佐々木 洋子
会計年度任用職員	加藤 恵子
会計年度任用職員	加藤 恵子
会計年度任用職員	高橋 康文

【めざす子ども像】

- 元気でたくましい子ども
- 仲良く助け合う子ども
- 情操豊かなこども

西和賀町立せんだん保育所

所 長 吉 田 幸 哉

〒029-5615 和賀郡西和賀町沢内字猿橋 38-16-5

TEL 0197-85-3180

FAX 0197-85-3180

E-mail: <yukiya7648@town.nishiwaga.lg.jp>

年齢	0	1	2	3	4	5	合計
人数	0	0	1	2	2	4	9

【保育実践目標】

たくましく ころろ豊かに なかよく

【各年齢の目標】

年 齢	主 な 目 標	年 齢	主 な 目 標
0 歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。	3 歳児	保育者や友達と遊ぶ中で自分がしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現することができる。
1 歳児	安心できる保育者との関係の下で自分でしようとする気持ちが芽生える。	4 歳児	保育者や友だちと一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動が出来るようになる。
2 歳児	保育者との安定したかかわりを通して、日常生活に必要なおおよそのことを自分でしようとする。	5 歳児	生活や遊びの中で、ひとつの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わうことができる。

【保育理念・保育方針】

一人ひとりの生きる力をより豊かにより強く育むために、子どもを取り巻く環境の変化に対応し、地域における子育て支援のために子育てに関する相談に応じ、乳幼児の個々の能力を伸ばし心身を健全に育成する。

- 1 個々の子どもの置かれている状況及び家庭、地域社会における生活の実態を把握し、子どもを温かく受容し、保護・世話をし、子どもが安定感と信頼感をもって活動できるようにする。
- 2 子どもの発達について理解し子ども一人一人の特性に応じ、発達の課題に配慮する。
- 3 子どもの生活リズムを大切にし、生活の流れを安定し、かつ調和のとれたものにする。
- 4 子どもが自発的・意欲的にかかわれるような環境の構成と子どもの主体的な活動を大切にする。
- 5 個々の子どもの活動を大切にしながら、集団活動を効果あるものにするよう援助すること。



【令和6年度職員】

職 名	氏 名
所 長	吉 田 幸 哉
主 任 保 育 士	三 浦 明 穂
主 任 保 育 士	高 橋 恵美子
保 育 士	佐々木 優 夏
主 任 調 理 員	深 澤 良 江
会 計 年 度 任 用 職 員	高 橋 愛 子
会 計 年 度 任 用 職 員	野 中 真由美
会 計 年 度 任 用 職 員	太 田 早 恵
会 計 年 度 任 用 職 員	佐 賀 丞 美

【めざす子ども像】

- 元気でたくましい子ども
- 仲良く助け合う子ども
- ものごとをよく見聞きして表現する子ども
- 挨拶のできる子ども

西和賀町立川舟保育所

所長 刈田 紀代子

〒029-5701 和賀郡西和賀町沢内字川舟 35-14

T E L 0197-85-2536

F A X 0197-85-2536

E-mail: kawafune-ns@town.nishiwaga.lg.jp

年齢	0	1	2	3	4	5	計
人数	1	1	2	4	3	3	14

【保育目標】

たくましく こころ豊かに なかよく

【各年齢の目標】

年齢	主な目標	年齢	主な目標
0歳	・個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。	3歳	・保育者や友達と遊ぶ中で、自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。
1歳	・安心できる保育者との関係の下、自分でしようとする気持ちが芽生える。	4歳	・保育者や友達と一緒に遊びながら、繋がりを広げ、集団としての行動ができるようになる。
2歳	・保育者との安定したかかわりを通して、日常生活に必要なおおよそのことを自分でしようとする	5歳	・生活や遊びの中で一つの目標に向かい力を合わせて活動し達成感や充実感を味わう。

【保育理念・保育方針】

一人ひとりの生きる力をより豊かにより強く育むために、子どもを取り巻く環境の変化に対応して、地域における子育て支援のために、子育てに関する相談に応じ、乳幼児の個々の能力を伸ばし心身を健全に育成する。

1. 個々の子どもの置かれている状況及び家庭、地域社会における生活の実態を把握し、子どもを温かく受容し、保護・世話をし、子どもが安定感と信頼感をもって活動できるようにする。
2. 子どもの発達について理解し、子ども一人一人の特性に応じ、発達の課題に配慮する。
3. 子どもの生活リズムを大切にし、生活の流れを安定し、かつ調和のとれたものにする。
4. 子どもが自発的・意欲的にかかわれるような環境の構成と子どもの主体的な活動を大切にする。
5. 個々の子どもの活動を大切にしながら、集団活動を効果あるものにするよう援助すること。

【令和6年度職員】



職 名	氏 名
所 長	刈田 紀代子
副 所 長	高橋 智子
主 任 保 育 士	高橋 静香
上 席 調 理 員	石川 美佐子
主任保育士(再任用)	和泉 静江
会計年度任用職員	深澤 美由紀
会計年度任用職員	野中 信子
会計年度任用職員	佐藤 香代子

【めざす子ども像】

- 元気でたくましい子ども
- 仲良く助け合う子ども
- ものごとをよく見聞きして表現する子ども
- 挨拶のできる子ども

令和 6 年度 西和賀町教育関係施設

1 保育園・保育所（5月1日現在）

園・所名		組 名	人 数					
			男	女	小計	合計	備 考	教職員
社会福祉法人にしわが愛児会	川尻保育園 園長：高 橋 真紀子 TEL:82-2107	未満児組 ひよこ	2	3	5	16	混合保育	2
		年少組 たんぽぽ	4	1	5			3
		年中組 さくら	2	2	4			
		年長組 ばら	1	1	2			
	湯本保育園 園長：高 鷹 智 美 TEL:84-2510	未満児組 ひよこ	2	3	5	19	混合保育	2
		年少組 たんぽぽ	3	4	7			1
		年中組 ひまわり	2	2	4			2
		年長組 すみれ	2	1	3			
西和賀町立	新町保育所 所長：黒 渕 真貴子 TEL:85-2235	未満児組 たんぽぽ	2	4	6	16	混合保育	2
		年少組 ちゅうりっぷ	2	0	2			2
		年中組 ひよこ	1	3	4			
		年長組 にわとり	2	2	4			
	せんだん保育所 所長：吉 田 幸 哉 TEL:85-3180	未満児組 ちゅうりっぷ	0	1	1	9	混合保育	3
		年少組 すみれ	1	1	2			
		年中組 ゆり	1	1	2			
		年長組 ひまわり	1	3	4			1
	川舟保育所 所長：刈 田 紀代子 TEL:85-2536	未満児組 たんぽぽ	3	1	4	14	混合保育	2
		年少組 ばら	4	0	4			2
		年中組 ゆり	2	1	3			
		年長組 ひまわり	3	0	3			

2 岩手県立西和賀高等学校 校長：助川 剛栄 TEL:84-2809・2810 FAX:84-2884 （5月1日現在）

学 年	学科・コース名	人 数				
		男	女	小計	合計	教職員
1	普通科	20 (5)	24 (7)	44 (12)	男 52	20 名
					(15)	
2	普通科	14 (6)	14 (6)	28 (12)	女 54	
					(17)	
3	普通科	18 (4)	16 (4)	34 (8)	計 106	
					(32)	

※（ ）内は、西和賀町出身者数

西和賀町総合給食センター

所 長 照 井 哲

〒029-5612 西和賀町沢内字大野 13-3-5

TEL 0197-85-2519 Fax 0197-62-5143

E-mail school-meal@town.nishiwaga.lg.jp

開設年月日 令和4年4月1日

1 施設の概要

構造・規模	鉄骨造平屋建て
敷地面積	3120.26 m ²
延床面積	874.00 m ²
供給能力	400 食/日
供給熱量	オール電化方式
調理方式	ドライシステム
提供校	湯田小学校、沢内小学校、湯田中学校、沢内中学校



2 職員構成

職員総数	職種別・採用別					
	採用別	所長	栄養教諭等	事務	調理	運転
3	正規	1			2	
10	会計年度任用				8	2
	委託					
13		1			10	2

3 給食対象校及び人員

小 学 校			中 学 校			センター・幼・保・高校等				合 計			
校数	児童数	職員数	校数	生徒数	職員数	施設数	園児数	高生数	職員数	施設数	児生 生徒数	職員数	人員合計
2	127	33	2	85	43	1			11	5	212	87	299

4 給食日数

校種	年間給食 予定日数	年間給食予定日数内訳				1 週平均予定回数			
		パン	米飯	麺	弁当持 参	パン	米飯	麺	弁当持 参
小	170	38	132			1	4		
中	176	38	138			1	4		

5 主食給食状況

炊飯方式	給食人員総 数	主食（パン・米飯）1食基準量					
		小学校			中学校		
		学年	小麦粉量	精米量	学年	小麦粉量	精米量
センター	299 人	1・2	50g	60g	1～3	80g	110g
		3・4	60g	75g			
		5・6	70g	90g			

6 給食費

校種	1食当平均単価	1人当年間総額	年間徴収回数	徴 収 月 額		
				1 回目徴収額	2 回目徴収額	会計区分
小学校	290 円	49,300 円	10 回	4,930 円 (初回徴収 5 月)	4,930 円 (終回徴収 2 月)	公会計
中学校	330 円	58,740 円	10 回	5,874 円 (初回徴収 5 月)	5,874 円 (終回徴収 2 月)	公会計

生涯学習・社会教育

(芸術・文化振興、スポーツ振興)

令和 6 年度 生涯学習・社会教育行政の基本方針

【基本方針】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 生涯学習の推進と環境の充実2 誰もが参加できる生涯スポーツの振興3 地域の歴史や文化の継承と創造 |
|--|

【重点目標】

1 生涯学習の推進と環境づくり

- (1) 個々人の価値観やライフスタイルの多様化、デジタル化の進展など社会構造が変化する中で、町民のニーズにあった多様な内容の学習機会を提供してまいります。また、町民の積極的な生涯学習活動への参加を促進するため、生涯学習に関する情報の発信に取り組みます。
- (2) 各地区教育振興会と実践班の活動支援を通じて教育振興運動の推進を図ります。運動の推進に当たっては、学校支援地域本部事業との連携を密にし、コミュニティスクール活動の活性化を図ります。
- (3) 第2次男女共同参画プランに基づく事業の取組みを推進し、男女共同参画意識の浸透に努めます。
- (4) 読書ボランティアと連携した読み聞かせや読書イベントの開催を通じて、町民の読書活動の推進を図ります。また、多様なニーズに対応した図書の選書・購入や雑誌・マンガの配架などに取り組み、図書室の利用促進を図ります。

2 スポーツの振興

- (1) 町民が生涯にわたり多様な形でスポーツに親しむことができる「健康で活気あふれるまちづくり」を目指します。
- (2) 町のスポーツ活動の軸となるスポーツ推進委員や単位協会、地区体育協会等の活動を促進することにより、気軽にスポーツに取り組むことができる機会を創出し、地域内及び地域間の交流を推進します。
- (3) 国の実証事業（委託事業、2年目）を活用し、中学校休日部活動指導者の拡充・指導力の向上を図るとともに、地域移行に併せ、地域スポーツクラブ設置に向けた取組みを進めます。

3 芸術文化の振興と文化財保護

- (1) 文化創造館の開館 30 周年を記念した企画や常設公演の開催を通じて芸術鑑賞事業の充実を図ります。また、中学生の演劇講座や学生演劇合宿事業に取り組み、演劇文化の裾野の拡大を図ります。
- (2) 芸術文化協会と合同で町芸術文化祭を開催し、文化・芸術の普及と伝承に努めます。
- (3) 指定文化財保全・保護に努めるとともに、大台野遺跡や土畑鉱山関係資料について、研究機関や関係団体の協力を得ながら、展示活用に向けた検討を行います。

令和6年度事業計画

1 生涯学習関係事業一覧

【生涯学習の推進と環境づくり】

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
1	町民大学講座	「生涯学習の理念」に基づき、様々な内容の学習機会を創出し、生涯に渡る継続学習の意欲を醸成する。 専門知識を持った人材による学習の場を提供し、町民の知的好奇心の向上を図る。	4月各学部学生募集 5月～2月開講 ①幼小中高生コース（18歳以下） ②成人コース（18歳以上）	町民全般
2	高齢者大学 ほのぼの学園事業	参加者同士の交流を図るとともに、町内外の優れた文化芸術に触れることで自ら学習することに喜びを感じ、学び続けようとする意欲の醸成を図る。	年8回 （5月～12月）	町内に在住する65歳以上の方
3	まちづくり出前講座	町の仕事やまちづくりについて、町職員が講師となり集会所等に出向いて講座を開設し、町民の学習意欲の喚起、自主的学習活動を支援する。 北上市の出前講座事業のうち、西和賀町に派遣可能な講座リストを活用した学習活動の充実を図る。	通年 講座一覧より選択 全戸配布、町HP掲載 自治協議会、生涯学習だよりでPR	町内に在住又は勤務する5人以上の団体及びグループ
4	男女共同参画事業	男女共同参画社会の実現のため、町民に向けた男女共同参画意識の啓発活動を実施する。 また、町のプランに沿った目標達成を図るため、各課の取り組み状況の確認を行う。	6月 標語コンクール 7月 懇談会① 9月～12月 岩手県参画サポーター研修会参加 2月 進捗状況確認 3月 懇談会②	町民
5	青少年事業	青少年の体験活動を通して意欲・関心を高め、青少年の健全な心身の育成を図る。自ら学び考え主体的に判断・行動し、よりよく問題解決する能力、他者を理解し、他者へ働きかけるための能力を身につける。 また、中学生を対象とした模擬議会を開催することで、議会や行政との関わりや町が直面する様々な課題について考える機会をつくる。	中学生議会 2月上旬予定	町内中学生
6	子育て支援事業	町内の乳幼児及びその保護者が気軽に集い、子育てに関する知識や情報を交換する場として、また子育てに必要な技術等を学習するための講座を開設する。なお、社会福祉協議会主催の「子育てサロン」に合わせ共同で行う。 赤ちゃんが親が絵本を介して、温かく楽しいひとときを共有することができるよう、生後6ヵ月経過した親子に絵本を贈るブックスタート事業を推進する。	イベント2回 子育てサロン・乳児検診日	乳幼児とその保護者 町内在住で生後6ヵ月に達した乳児とその保護者
7	家庭教育学級	町内の中学生以下の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する知識や情報、技術等を学ぶため、「家庭教育学級中央講座」を開催する。また、各保育所（園）、小中学校単位での学習会を支援するため講師謝礼の助成を行う。	中央講座（年1回） 保育所・小中学校	中学生以下の子どもを持つ保護者
8	教育振興運動推進事業	教育振興運動を一層効果的に推進するため、湯田地区、沢内地区教育振興会と、7つの実践班（旧小学校区）と連携して教育向上を図るとともに、子どもを取り巻く教育課題を解決するため町PTA連合会と共催し講演会を開催する。 また、各地区教育振興会役員は、令和4年4月からコミュニティ・スクール（学校運営協議会）に参加し、学校の基本的な方針の承認や意見の申し出、住民参画促進のための提案など可能な協力を行う。	通年 総会（5月） 交流集会（11/23(土)予定）	町民
9	学校支援地域本部事業	学校の授業補助や体験活動への地域住民の参加など、学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子供を育てる体制を整えるため、各小学校に地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携に取り組む。	通年	町民

1 生涯学習関係事業一覧
【生涯学習の推進と環境づくり】

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
10	二十歳のつどい開催事業	町内中学校卒業生及び町内に在住する満21歳（本年1月成人の日時点で満20歳到達年度生まれ）を対象に二十歳のつどい記念式典の開催及び記念行事を開催する。記念行事の内容は該当者の自主性を尊重することとし、側面から支援する。	8月14日 銀河ホール	対象者： H15年度生まれ
11	読書推進事業	子どもの頃から読書の習慣がつくよう、家庭、地域、学校等が連携しながら読書活動を総合的かつ計画的に推進する「西和賀町子ども読書活動推進計画」に基づき取り組む。	図書・読書ボランティア養成講座（1回） 町内行事での読み聞かせ 読書週間等での企画展示等	町民 読書ボランティア 園児・児童生徒
12	図書室等運営事業	図書室相互の蔵書の入替や新刊・新着図書購入による蔵書の充実を図るとともに、読み聞かせ会や企画展示、おすすめ図書の紹介等の情報発信、巡回図書の運行などにより利用促進を図る。 ※雑誌の配架	通年 川尻、太田、さわうち病院 巡回図書館車	町民
13	婦人連絡協議会運営費補助事業	町婦人連絡協議会の主催事業を支援し、円滑な運営が図られるよう、その経費の一部を補助する。	通年支援	婦人連絡協議会
14	きらめく女性連絡会議	町内女性団体が主催する「きらめく女性のつどい」の事業の運営の支援とその経費の一部を補助する。	つどい1月(母子協)運営委員会2回	町内5女性団体
15	P T A連合会運営費補助事業	町P T A連合会の主催事業を支援し、円滑な運営が図られるよう、その経費の一部を補助する。	通年支援	P T A連合会

2 スポーツ振興事業一覧

【誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツの振興】

(1) スポーツ団体の育成と推進体制整備充実

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
16	西和賀町体育協会等支援事業	町内の生涯スポーツ人口の拡大・活動の充実を図るため、西和賀町体育協会・スポーツ少年団・各種スポーツ団体等を支援する。	通年支援 評議員会（7月） 理事会（5月・3月）	体協加盟21団体ほか
17	スポーツ推進委員協議会	地域のスポーツ振興のため、スポーツコーディネーター的役割をもち、スポーツの実技指導や助言を行う。 ※東北地区スポーツ推進委員研修会宮城大会参加（表彰）	総会（4月・3月） スポーツ事業への協力	スポーツ推進委員
18	学校体育施設開放事業	学校体育施設を開放し、地域に根ざしたスポーツの振興を図る。施設開放（体育館・校庭）	通年開放 湯田小学校 沢内小学校	スポーツ少年団
19	地域スポーツ活動体制整備事業	中学校の休日部活動の地域移行への対応を進めるとともに、町、体協及びスポーツ少年団の関係を整理するとともに、地域スポーツクラブの設置に向けた検討を進める。	周年	スポーツ関係者、町民

(2) スポーツ・レクリエーション実践活動の推進

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
20	第71回北上線沿線中学校選抜野球大会	北上線沿線の中学校1・2年生チームにより、新人戦に向けた力試し的な位置づけの大会を実施し、中学生の意欲化を図る。	8月3日～8月4日 錦秋湖グラウンド・沢内総合公園	中学生（県内外）
21	第31回沢内クロスカントリースキー大会	クロスカントリースキー競技を通じた、冬季スポーツの振興と、町内外から広く参加者を募ることによる、参加者・団体の交流を目的とする。	2月22～23日 ※県スキー連盟との日程調整有 志賀来スキー場	小中学生（県内外）
22	町民スポーツ交流会	町体育協会と町の共催により実施し、町民のスポーツを通じた健康づくり体力向上を図るとともに、参加者同士の交流を図るミニイベントを開催する。	未定	町民
23	各種スポーツ教室	出前講座と連携し、町民が気軽にスポーツに親しむ機会の拡充と、スポーツ人口の拡大を図る。	希望を通年受付 受講者が希望する場所	町民

(3) 施設設備の充実

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
24	体育施設整備事業	町民がスポーツにいつでも親しむことができるよう、施設の適正管理に努める。	周年	町民

3 芸術・文化振興事業一覧

【地域の歴史や文化の継承と創造】

No.	事業名	趣旨・目的	期日	対象
25	小学校芸術鑑賞事業	児童生徒に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、児童生徒の豊かな人間形成に寄与するとともに、地域の文化芸術の普及と向上を図る。	6月12日 銀河ホール 岩手県青少年劇場 青少年「狂言」鑑賞会	小学生
26	中学生演劇講座事業	中学校生徒に対し、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等の実技指導を実施することにより、芸術を愛する心を育て、豊かな感性を養うとともに、コミュニケーション能力の育成を図ろうとするもの。 〔演劇指導者への委託事業〕	湯田中学校（10月下旬） 会場：銀河ホール 沢内中学校（10月下旬） 会場：沢内中体育館	中学生
27	他文化会館連携事業	町民の鑑賞機会を確保するため、他文化会館と連携し、鑑賞事業へ住民の送迎を行う。		町民
28	芸術文化協会支援事業	町民の文化芸術活動の振興のために、加盟団体の育成と活動充実の支援にあたる。	通年支援	芸術文化協会
29	町芸術文化祭	町芸術文化協会と町の共催で実施し、町民の日頃の芸術文化活動の成果を広く一般に公開することで創作意欲を喚起し、芸術文化の振興に資する。	11月1～3日 町内	町民
30	文化創造館運営委員会	今後の文化創造館の運営について意見をいただく。	4月・10月	委員（町外あり）
31	銀河ホール自主事業 常設公演業務委託	西和賀町文化創造館が今後持続可能な文化施設として、その意義・価値・役割を明確なものとするために住民や観光客に向けた常設公演を実施する。結果、文化施設としての立ち位置ではなく、常に人が気軽に集まれる場として、また観光面への貢献を同時に確立することにより、将来的に文化創造館が町の財産として広く町民に認知されるような取り組みを展開する。	3事業予定 演劇・民謡・講演・コンサート等	町民、一般
32	新 文化創造館開館30周年記念公演	平成5年の開館から30周年を迎えることからこれを記念し各種鑑賞事業を実施するもの。	4/21：陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 8/31：劇団ぶどう座「川村光夫追悼公演 めくらぶんど(仮題)」 時期未定：劇団前進座公演	町民、一般
33	新 ギンガク実行委員会委託事業	ギンガク実行委員会に対して、銀河ホールをメイン会場として町内外から参加者が集う芸術活動事業を委託する。	通年（内容検討中）	町民、一般
34	芸術文化施設の管理運営	文化創造館・歴史民俗資料館・川村美術館・川村デッサン館の利用及び入館を促進し、芸術文化意識の高揚を図る。	通年	町民
35	指定文化財の保全管理	文化財保護審議会による町指定文化財の保護等に係る事項の協議、文化財パトロールを実施し、天然記念物等の状態の確認等、国、県及び町指定文化財の適切な保全管理を行う。	通年・町内	指定文化財
36	文化創造館改修事業	平成5年の開館から30年を経過し耐用年数の超過が著しい設備について改修するもの。	・冷温水ポンプ交換工事 ・事務室・楽屋系統照明LED化工事	文化創造館

指定文化財一覧

(令和6年4月1日現在)

指定 番号	区 分	種 別	名 称	指定年月日	所在地
—	国指定	重要有形民俗文化財	丸木舟	S39. 5. 29	太 田
—	〃	〃	マタギ狩猟用具	S53. 8. 5	〃
—	〃	〃	積雪期用具	S61. 3. 31	〃
—	県指定	天 然 記 念 物	湯川沼の浮島	S41. 3. 8	湯 川
1	町指定	有 形 文 化 財	頂相の図	S44. 12. 15	太 田
2	〃	〃	阿弥陀如来像	S44. 12. 15	〃
3	〃	無形民俗文化財	坂本神楽	S44. 12. 15	前 郷
4	〃	〃	川舟田植踊	S44. 12. 15	川 舟
5	〃	史 跡	ストーンサークル	S44. 12. 15	内の沢
6	〃	〃	一里塚	S44. 12. 15	川 舟
7	〃	〃	一字一石供養塔	S44. 12. 15	太 田
8	〃	〃	典膳館跡	S44. 12. 15	新 町
9	〃	名 勝	弁天島	S44. 12. 15	猿 橋
10	〃	〃	七ツ釜	S44. 12. 15	飯 豊
11	〃	天 然 記 念 物	大銀杏	S44. 12. 15	太 田
12	〃	〃	柏楨	S44. 12. 15	貝 沢
13	〃	史 跡	峠山一里塚	S51. 4. 1	大石峠山
14	〃	〃	芳ヶ沢一里塚	S51. 4. 1	芳ヶ沢
15	〃	〃	豊沢一里塚	S51. 4. 1	樺 沢
16	〃	有 形 文 化 財	カラカサ連判状	S55. 1. 9	上野々
17	〃	〃	沢内年代記《巢郷本》	S55. 1. 9	〃
18	〃	史 跡	草木供養経	S55. 7. 1	七 内
19	〃	天 然 記 念 物	ミズバショウ	S55. 7. 1	蛭山～鍵沢
20	〃	有 形 文 化 財	孫作地蔵尊	S56. 9. 3	大石峠山
21	〃	天 然 記 念 物	泉沢の一本杉	S57. 4. 1	泉 沢
22	〃	天 然 記 念 物	沢内の雪つばき	S57. 4. 1	太 田
23	〃	無形民俗文化財	長松垢離とり(山神祭)	S57. 12. 14	湯之沢
24	〃	〃	白木野人形送り(厄払い祭)	S57. 12. 14	白木野
26	〃	有 形 文 化 財	明治4年湯田村大絵図	S60. 6. 21	上野々
27	〃	史 跡	八幡館跡	H 2. 6. 15	太 田
28	〃	無形民俗文化財	湯本鬼剣舞	H 4. 5. 8	湯 本
29	〃	天 然 記 念 物	越中畑沢口神社の大杉	H 9. 7. 7	越中畑
30	〃	〃	左草のナツツバキ	H 9. 7. 7	左 草
31	〃	〃	越中畑のサクラバハノキ群落	H 9. 9. 19	越中畑
32	〃	〃	シダレザクラ	H13. 2. 27	鍵 沢
33	〃	〃	シダレザクラ	H13. 2. 27	新 町
34	〃	〃	川舟断層	H13. 2. 27	若畑・川舟
35	〃	〃	峰桜	H15. 7. 25	貝 沢
36	〃	無形民俗文化財	新町舟っこ流し	H20. 4. 1	新 町

※25は欠番

生涯学習関係者名簿

【社会教育委員】

職名	氏名	選任区分
委員	選任中	町校長会
〃	選任中	町PTA連合会
〃	酒本麻理	町芸術文化協会
〃	高橋美紀子	町女性団体
〃	高橋定信	町老人クラブ連合会
〃	石川進	町スポーツ団体
〃	高橋夕美子	知識経験者
〃	田村公一	〃
〃	高橋達	〃
〃	高橋勤	〃
〃	工藤博	〃

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

【文化財保護審議会委員】

(民俗資料館協議会委員)

職名	氏名
	任期満了のため選任中

【文化創造館運営委員】

職名	氏名	区分
委員	菊池啓二	劇団ぶどう座代表
〃	酒本涼子	西和賀町芸術文化協会会長
〃	高橋達	西和賀町社会教育委員
〃	高鷹政明	知識経験者
〃	菊地嘉子	〃
〃	千田敬	〃
〃	加藤紗栄	〃
〃	真壁一男	町職員
〃	高鷹栄登	〃

任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日

【婦人連絡協議会】R6～7年度

職名	氏名
会長	照井由美子
副会長	高橋美紀子
〃	高橋節子
事務局	志賀久満喜子
〃	和泉和子
〃	高橋富美子

婦人連絡協議会単位会

単位会	代表者
新町	高橋美紀子
鍵飯	刈田光子
前郷	内記あや子
長瀬野	照井由美子
弁天	高橋初子
川舟	高橋千賀子
貝沢	南川恵子
猿橋	志賀久満喜子
川尻	藤谷幸子
湯田	高橋節子
左草	佐々木悦子

【西和賀町芸術文化協会】

令和5～6年度

職名	氏名
会長	酒本 涼子
副会長	中村 健
〃	真嶋 実

【老人クラブ連合会】

令和6年度

職名	氏名
会長	高橋 定信
副会長	藤原 輝夫
〃	高橋 範子

西和賀町芸術文化協会加盟団体

No.	団体名	代表者名
1	お茶とお花の会	菅原 百合子
2	コーラスあかまんま	田中 真理子
3	日本舞踊湯本水木会	大澤 幸子
4	ぶどう座	菊池 啓二
5	湯本鬼剣舞	柳沢 慎
6	天の川吟社	菊池 一治
7	西和賀民謡同好会	小山 勇
8	山の音楽隊	高橋 雅仁
9	湯田みかぐら	田中 直樹
10	宝湯会	高橋 恵子
11	やよい会	酒本 涼子
12	錦秋吟友会	高橋 節子
13	沢内民謡保存会	八京 俊一
14	川舟田植踊保存会	中村 健
15	坂本神楽団	高橋 秀一
16	コーラスリリシヤン	加藤 恵子
17	さわうち太鼓百年座	加藤 裕
18	沢内民舞同好会	高橋 敏子
19	カトレアの会	谷地中 あつ子
20	沢内さんさ踊り保存会	村上 正志
21	湯田子供太鼓	小林 智美

老人クラブ連合会単位クラブ

No.	単位クラブ名	会長名
1	貝沢福寿会	藤原 英夫
2	若畑長生会	藤原 輝夫
3	川舟黒森絆の会	高橋 定雄
4	丸志田老人クラブ	深澤 重勝
5	長瀬野老人クラブ	照井 洸
6	泉沢泉寿会	選任中
7	弁天老壮会	高橋 幸一
8	猿沢老松クラブ	高橋 勝則
9	太田老人クラブ若柳会	米澤 卓生
10	鍵飯老人クラブ	刈田 昭一
11	前郷長寿会	佐々木 次雄
12	新町老人クラブ明朗会	刈田 三富
13	大野松葉会	選任中
14	東大野クラブ松友会	刈田 亨
15	左草桜寿会	熊沢 一郎
16	下前白糸会	岩井川 俊一
17	湯田中館会	高橋 武男
18	湯本鶴亀会	山崎 浩行
19	槻沢長寿会	高橋 範子
20	湯之沢明交会	高橋 重一
21	川尻一区山百合会	武田 孝一
22	川尻二区憩会	藤田 陽子
23	上野々老人クラブすみれ会	照井 勝利
24	天ヶ瀬老人クラブ福寿会	照井 祝
25	湯川百年クラブ	高鷹 義一
26	小繋沢徳陽会	中島 達郎
27	越中畑喜楽会	伊藤 清見
28	白木野共楽会	中島 将清
29	野々宿青空の会	高橋 定信
30	柳沢北陽会	照井 賢一

【西和賀町スポーツ推進委員】

令和5～6年度

役 職	氏 名	備 考
会長	石 川 進	平成9年～ バレー・スキー
副会長	和 泉 和 子	平成19年～ バレー
委員	高 橋 仁	平成19年～ 野球・弓道
〃	高 橋 香	平成19年～ スキー
〃	高 橋 望	平成25年～ 雪合戦・野球
〃	高 橋 淳 木	平成27年～ 野球・陸上
〃	小田島 利 政	平成27年～ 野球・雪合戦
〃	掃 部 恭 祐	平成29年～ クロカン
〃	照 井 陽 子	令和3年～ バレー・ボート
〃	大 堰 円	令和5年～ バレー

【西和賀町体育協会】

令和6～7年度

職 名	氏 名
会 長	任期満了 のため 選任中
副会長	
〃	

西和賀町体育協会加盟団体

令和6～7年度

No.	団 体 名	代表者名
1	西和賀町野球協会	任期満了 のため 選任中
2	西和賀町スキー協会	
3	西和賀町水泳協会	
4	西和賀町陸上競技協会	
5	西和賀町柔道協会	
6	西和賀町バレーボール協会	
7	西和賀町ボート協会	
8	西和賀町ゲートボール協会	
9	西和賀山岳会	
10	西和賀町グラウンド・ゴルフ協会	
11	西和賀町沢内弓道会	
12	西和賀町雪合戦協会	
13	西和賀町卓球協会	
14	西和賀町ウォーキング協会	
15	川舟地区体育協会	
16	猿橋地区体育協会	
17	志賀来地区体育協会	
18	西部地区体育協会	
19	湯本地区体育協会	
20	川尻地区体育協会	
21	スポーツ少年団本部	

資料編

西和賀町教育委員会 歴代委員長、教育長及び委員

歴代委員長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	早川 正剛	平成 17 年 11 月 1 日	平成 19 年 6 月 13 日
2	三浦 浩信	平成 19 年 12 月 1 日	平成 20 年 11 月 30 日
3	小田島 文生	平成 20 年 12 月 1 日	平成 21 年 11 月 30 日
4	須藤 繁	平成 21 年 12 月 1 日	平成 22 年 11 月 30 日
5	深澤 武志	平成 22 年 12 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日

歴代教育長

代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	高橋 稔	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
		平成 17 年 12 月 1 日	平成 21 年 11 月 30 日
2	野中 孝勇	平成 21 年 12 月 25 日	平成 25 年 12 月 24 日
3	船田 浩	平成 26 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
4	佐藤 敦士	平成 29 年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月 31 日
5	柿崎 肇	令和 2 年 4 月 1 日	令和 5 年 3 月 31 日
		令和 5 年 4 月 1 日	在任中

歴代委員等

氏名	就任年月日	退任年月日
小平 忠孝	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
田口 光昭	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
	平成 17 年 12 月 1 日	平成 18 年 11 月 30 日
早川 正剛	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
	平成 17 年 12 月 1 日	平成 19 年 6 月 13 日
三浦 浩信	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
	平成 17 年 12 月 1 日	平成 20 年 11 月 30 日
高橋 稔	平成 17 年 11 月 1 日	平成 17 年 11 月 30 日
	平成 17 年 12 月 1 日	平成 21 年 11 月 30 日
小田島 文生	平成 17 年 12 月 1 日	平成 21 年 11 月 30 日
阿部 栄子	平成 19 年 1 月 1 日	平成 22 年 12 月 31 日
	平成 23 年 1 月 1 日	平成 24 年 11 月 30 日
須藤 繁	平成 20 年 1 月 1 日	平成 22 年 11 月 30 日
深澤 武志	平成 21 年 1 月 1 日	平成 24 年 12 月 31 日
	平成 25 年 1 月 1 日	平成 28 年 12 月 31 日
	平成 29 年 1 月 1 日	令和 2 年 12 月 31 日
	令和 3 年 1 月 1 日	在任中

氏名	就任年月日	退任年月日
坂巻 潤子	平成 21 年 12 月 25 日	平成 25 年 12 月 24 日
野中 孝勇	平成 21 年 12 月 25 日	平成 25 年 12 月 24 日
平藤 壽子	平成 23 年 6 月 23 日	平成 23 年 12 月 31 日
	平成 24 年 1 月 1 日	平成 27 年 12 月 31 日
	平成 28 年 1 月 1 日	令和元年 12 月 31 日
	令和 2 年 1 月 1 日	令和 5 年 12 月 31 日
	令和 6 年 1 月 1 日	在任中
高橋 敏樹	平成 25 年 4 月 1 日	平成 26 年 12 月 31 日
	平成 27 年 1 月 1 日	平成 30 年 12 月 31 日
船田 浩	平成 26 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
加藤 和夫	平成 26 年 4 月 1 日	平成 30 年 3 月 31 日
	平成 30 年 6 月 25 日	令和 4 年 6 月 24 日
	令和 4 年 6 月 25 日	在任中
廣田 宏	平成 31 年 1 月 1 日	令和 5 年 3 月 31 日
	令和 5 年 1 月 1 日	在任中

令和6年度 西和賀町関係事業予定表

4 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対 外 (事 務 所 ・ 県) 関 係 等	役 場 関 係
1 月	教職員着任式		
2 火		●所内会議① ●初任者研修指導教員等研修会	
3 水		▲新任特担研 (集orラ)	
4 木	第1回校長会議		
5 金			
6 土			
7 日			
8 月			
9 火	小中学校副校長・事務職員研修会		
10 水	町内着任教職員研修	▲通級指導担当研	
11 木		●初任研一般研①	
12 金	第1回生徒指導主事会議		
13 土			
14 日			
15 月		●管内校長会議 (初任者研修実施校長連絡会議)	
16 火		★県指導主事会議①	
17 水		↓	
18 木	・全国学力・学習状況調査 ・新入生学調	・全国学力・学習状況調査 ・新入生学調 ★SC連絡協議会①	
19 金	第1回教務主任会議	・第62回岩手県小学校長会総会 (キャラホール) ●授業力向上アドバイザー会議	
20 土			
21 日		・盛岡一周継走	
22 月		▲小初任研 I ●指導養護教諭連絡協議会① ●所内会議② ★新任校長研	
23 火	特別支援教育コーディネーター連絡会議	▲中免外研 ↓	
24 水		↓ ↓	
25 木	第1回教育委員会議	★授業アイデア活用研	
26 金	第1回キャリア教育推進会議	↓ ・第62回岩手県中学校長会総会 (キャラホール)	
27 土			
28 日			
29 月	昭和の日	昭和の日	昭和の日
30 火			
	授業日数: 16日 学年始休業日は町規則で示した日 (4/1~4/5)		

5 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 水	第1回研究主任会議		
2 木		●臨時的任用教員研	
3 金	憲法記念日	憲法記念日	憲法記念日
4 土	みどりの日	みどりの日	みどりの日
5 日	こどもの日	こどもの日	こどもの日
6 月	振替休日	振替休日	振替休日
7 火		★小中学校外国語指導者養成研修会	
8 水	尿検査（小・中全学年）1回目 心臓検診（小1・4年、中1年）一次	▲養教初任研Ⅰ ▲中免許外研（技術）	
9 木		▲小中特支学級設置校長研 ●BU・体育授業改善研担当者会議 ▼★新任主幹教諭研	
10 金		▲幼児教育中核リーダー研Ⅰ ▼・子どもの読書推進会議	
11 土			
12 日			
13 月			
14 火		▲いじめ関連研（学級担任層） ★新任副校長研 ・共同実施総括等会議	
15 水		↓ ↓	
16 木	巡回図書（湯田）	●所内会議③	
17 金		★英語デジタル説明会 ●市町村教育支援担当者研	
18 土			
19 日			
20 月		★就学前教育担当者会議	
21 火		▲幼児教育アドバイザー研Ⅰ	
22 水	耳鼻科健診	▲中初任研Ⅰ ▲いじめ関連研（主任・管理職） ★幼児教育担当指導主事会議 ・県立高校教育の在り方に関する 地区別懇談会（中部）	
23 木	巡回図書（沢内）	↓ ↓	
24 金		★県立高校入試オンライン説明会	
25 土			
26 日			錦秋湖マラソン
27 月	眼科健診 貧血検査（中・全学年）		
28 火	第2回教育委員会議	▲小5年研 ●中堅研①	
29 水	尿検査（対象者のみ）2回目 ほのぼの学園開講式、第1回学習会	★中部・県南特支教育Co連絡会①	
30 木		▲幼初任研Ⅰ ▲小中新任教務主任研（ラ）	
31 金	教職員健診	・岩大附属中公開	
	授業日数：21日		

6 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 土	町民大学講座（子供コース①）		
2 日			
3 月			
4 火	沢内小学校JS	▲小中新任教務主任研（中央） ★防災教育研修会	
5 水	町民大学講座（大人コース①）	●2年目研一般研	
6 木		★園長等運営管理協議会 ▲社会につながるキャリア教育研	
7 金		●特支教育担当ステップアップ研Ⅰ（前期）	
8 土			
9 日			
10 月			
11 火	認知症研修会（町民大学合同）	・コーディネーター地区別研修講座	
12 水	岩手県青少年劇場「狂言」鑑賞会	★市町村幼児教育推進協議会	
13 木	巡回図書（湯田）	●管内校長研修講座	
14 金			
15 土	いわて男女共同参画オンラインセミナー	地区中総体	
16 日		↓	
17 月			
18 火		●所内会議④	
19 水	第2回校長会議		
20 木	巡回図書（沢内）	●初任研授業研①	
21 金		・岩大附属小公開 ★学校安全担当者研修会	
22 土	町民大学講座（子供コース②）	↓	
23 日			
24 月		★運動部活動指導者研修会（中部）	
25 火	第3回教育委員会議		
26 水	ほのぼの学園②（グランドゴルフ）	●5年研①	
27 木			
28 金		・上田中公開 ●管内副校長・主幹教諭研	
29 土			
30 日			
	授業日数：20日	3 幼小中高体育実技研① 10 幼小中高体育実技研②③ 17 幼小中高体育実技研④ 24 幼小中高体育実技研⑤⑥	

7 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 月		★柔道指導者研修会（県武）	
2 火		●いじめ問題等総合対策研	
3 水			
4 木		・第64回東北連合小学校長会研究協議会青森大会 ▲教育相談Co・FU研Ⅰ	
5 金	第2回生徒指導主事会議	↓ ●初任研一般研②	
6 土			
7 日			
8 月		★体育授業改善研修事前研修会	
9 火	ほのぼの学園③（シャフルボード）	▲就学前教育管理職研 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム	
10 水	湯田中JS		
11 木		★県教育課程協議会	
12 金		★教育ICT活用指導主事研修会 ・学校事務実務セミナー①	
13 土		・県中総体	
14 日		↓	
15 月	海の日		
16 火	ほのぼの学園④（ガーデニング）	●所内会議⑤	
17 水	第1回教育支援委員会	▲幼中堅研	
18 木	巡回図書（湯田）	↓	
19 金			
20 土			
21 日			
22 月			
23 火			
24 水			
25 木	第4回教育委員会議 巡回図書（沢内）		
26 金		★幼保小の学びをつなぐ研修会	
27 土			
28 日			
29 月	第1回通学路安全推進会議	▲中堅研（共通）	
30 火		▲中堅研（共通選択）	
31 水	西和賀町授業力向上研修会	▲中堅研（小・特・養・栄教諭） ・県学校保健研（盛岡）	
	授業日数：18日 夏期休業日は町規則で示した日程 (7/26～8/20)	5 幼小中高体育実技研⑦	

8 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 木	ほのぼの学園⑤（音楽鑑賞会）	▲中堅研（中教諭） ●小教育課程地区別協議会	
2 金		●中教育課程地区別協議会	
3 土	北上線沿線中学校野球大会		
4 日	↓		
5 月		▲小・教科スキルアップ研 ▲養・栄スキルアップ研	
6 火		▲中・特教科スキルアップ研	
7 水		・中高図書館担当者研修会	
8 木		★特支教育Co連絡会中部・県南地区研	
9 金		★幼児教育研究協議会	
10 土			
11 日	山の日	山の日	山の日
12 月	振替休日	振替休日	振替休日
13 火			
14 水	二十歳のつどい		
15 木			
16 金			
17 土			
18 日			
19 月			
20 火			
21 水		▲中初任研Ⅱ	
22 木	巡回図書（湯田）	●所内会議⑥	
23 金		↓	
24 土		★科学の甲子園ジュニア岩手県大会	
25 日			
26 月		★県指導主事協議会研修会	
27 火	第5回教育委員会議	★特支担当ステップアップ研Ⅰ（後期）	
28 水		▲小初任研Ⅱ ・和賀地区中学校駅伝大会	
29 木	巡回図書（沢内）	▲養教初任研Ⅱ わたしの主張北上地区大会	
30 金	第3回校長会議	↓ ↓	
31 土			
	授業日数：8日		

9 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 日			
2 月		★中音美教育課程協議会	
3 火		▲幼初任研Ⅱ ●5年研② ★特支学校体育指導者研修会（予定） ★小外国語専科教員研	
4 水		●管内復興教育研	
5 木		★中技家教育課程協議会	
6 金		▲教育相談Co・FU研Ⅱ ★教科で取り組む人権教育研修会	
7 土		★中音美技家教育課程協議会（非常勤講師対象）	
8 日			
9 月			
10 火	第2回教育支援委員会		
11 水			
12 木	巡回図書（湯田）	・笹間第一小公開	
13 金			
14 土		地区新人大会	
15 日			
16 月	敬老の日	敬老の日	敬老の日
17 火			
18 水		●所内会議⑦	
19 木	巡回図書（沢内）	★道徳教育授業づくり研修会 ・わたしの主張県大会	
20 金		●初任研授業研②	
21 土			
22 日	秋分の日	秋分の日	秋分の日
23 月	振替休日	振替休日	振替休日
24 火			
25 水	第6回教育委員会議		
26 木		・和賀西中学校訪問 ▲中・養・栄5年研	
27 金			
28 土		地区小学校陸上大会	
29 日			
30 月			
	授業日数：19日		

10 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 火		●地区別体力向上担当者研修会（中）	
2 水	岩手県学習定着度状況調査	岩手県学習定着度状況調査	
3 木		▲小2年目研 ↓ ・宮守小公開	
4 金	脊柱側弯検診（小5年、中1年）	↓ ・第59回岩手県小・中学校長研究大会二戸大会	
5 土			
6 日			
7 月			
8 火		●地区別体育授業改善研（小）	
9 水		・県中学校駅伝	
10 木		・南中公開	
11 金	沢内小学校学校公開研究会（午後）		
12 土			
13 日			
14 月	スポーツの日	スポーツの日	スポーツの日
15 火		●BU（中学校数学）	
16 水		▲中・養2年目研 ▲栄2年目研 ↓ ・第75回全日本中学校長会研究協議会岩手大会	
17 木		↓	
18 金		★保育者レベルアップ研2	
19 土		・県新人大会（前期）	
20 日		↓	
21 月		●所内会議⑧ ▲中初任研Ⅲ	
22 火	第4回校長会議	・事務職員研修会	
23 水		↓	
24 木		▲小3年目研 ↓ ・第76回全国連合小学校長会研究協議会徳島大会 ・県音研（北上・和賀）	
25 金	第7回教育委員会議	★学校保健研修会 ↓ ・花巻北中公開	
26 土			
27 日			
28 月		★県立高校入試事務説明会（中部）	
29 火		・いわさき小公開	
30 水		▲幼初任研Ⅲ ★SC連絡協議会② ↓ ・青笹小公開	
31 木		↓ ・附馬牛小公開	
	授業日数：22日		

11 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 金		▲幼初任研Ⅲ ★「いわて教育の日」の集い	
2 土		★県中学校スポーツ 文化活動セミナー（予定）	
3 日	文化の日	文化の日 ・いわて希望塾	文化の日
4 月	振替休日	振替休日 ↓	振替休日
5 火		●管内校長会議② ★帰国・外国人児童生徒教育関係研	
6 水	就学時検診	・大迫小公開	
7 木		●BU（小学校特活） ・全国学校保健・安全研究大会	
8 金		★保育技術研修会 ・石鳥谷中公開	
9 土			
10 日			
11 月			
12 火		★幼児教育中核リーダー研Ⅱ ★道徳教育パワーアップ協議会	
13 水		▲小初任研Ⅲ ・北上市中文連ステージ発表会	
14 木		●BU（中学校英語）	
15 金		↓ ★永年勤続表彰式	
16 土		・県新人大会（後期） ↓	
17 日		↓	
18 月	第3回教育支援委員会		
19 火		▲中3年目研 ▲養・栄3年目研 ●所内会議⑨	
20 水		↓	
21 木			
22 金		●BU（小学校道徳） ★教育振興基本対策審議会 ★県中文祭（～11/25） ・学校事務実務セミナー②	
23 土	教振交流集会	勤労感謝の日	勤労感謝の日
24 日			
25 月	CRT検査・知能検査（～12/6）	★幼児児童の運動遊び研修会	
26 火	第2回通学路安全推進会議 第8回教育委員会議	●中堅研②	
27 水	湯田小JS	・二子小訪問	
28 木	沢内中学校JS	★県養護教諭研究大会	
29 金		●管内教務主任研	
30 土			
	授業日数：20日		

12 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 日			
2 月			
3 火	第 5 回校長会議	● 2 年目研授業研	
4 水		● 小学校低学年研修会	
5 木		・ 盛岡峰南入学者選考	
6 金			
7 土			
8 日			
9 月		▲養教初任研Ⅲ	
10 火	第 3 回生徒指導主事会議		
11 水		・ 盛岡峰南入学者選考追検査	
12 木		↓	
13 金		・ 盛岡峰南合格発表 ● 所内会議⑩	
14 土			
15 日			
16 月			
17 火		★ 中部・県南特支教育Co連絡会②	
18 水			
19 木		★ 幼児教育フォーラム	
20 金			
21 土			
22 日			
23 月			
24 火			
25 水	第 9 回教育委員会議		
26 木	中学生サミット		
27 金	仕事納め		
28 土			
29 日			
30 月			
31 火	大晦日	大晦日	大晦日
	授業日数：18日 冬期休業日は町規則で示した日程 <u>(12/26～1/20)</u>		

1 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 水	元日	元日	元日
2 木			
3 金			
4 土			
5 日			
6 月	仕事始め	仕事始め	仕事始め
7 火		・北上市教育研究発表会	
8 水			
9 木		・県小規模・複式（盛岡）	
10 金			
11 土			
12 日			
13 月	成人の日	成人の日	成人の日
14 火			
15 水			
16 木		★英検IBA（中1） ★教育振興運動60周年記念大会	
17 金		●所内会議①	
18 土		・一関一校附属中入試	
19 日			
20 月			
21 火			
22 水			
23 木		●県指導主事会議②	
24 金		↓	
25 土		・一関一校附属中追試験	
26 日			
27 月			
28 火	第10回教育委員会議		
29 水			
30 木		・県立特支入学者選考 ★復興教育児童生徒実践発表会	
31 金		●初任研授業研③	
	授業日数：9日		

2 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 土			
2 日			
3 月		●中堅研③	
4 火			
5 水		★県教育研究発表会 ・県立特支入学者選考追検査	
6 木			
7 金		★指導養護教諭連絡協議会② ・県立特支合格発表 ★豊かな心を育む道德教育シンポジウム	
8 土			
9 日			
10 月			
11 火	建国記念の日	建国記念の日	建国記念の日
12 水		●所内会議⑫	
13 木			
14 金	第2回キャリア教育推進協議会	★60プラスプロジェクト実践交流会 ・学校事務実務セミナー③	
15 土			
16 日			
17 月			
18 火	第6回校長会議		
19 水			
20 木			
21 金	第2回教務主任会議		
22 土	沢内クロスカントリースキー大会		
23 日	天皇誕生日	天皇誕生日	天皇誕生日
24 月	振替休日	振替休日	振替休日
25 火			
26 水	第2回研究主任会議 第11回教育委員会議		
27 木			
28 金	第4回教育支援委員会		
	授業日数：18日		

3 月行事予定

●中部教育事務所 ★県 ▲センター ・その他

	西 和 賀 町 関 係	対外（事務所・県）関係等	役場関係
1 土			
2 日			
3 月			
4 火			
5 水		・ 県立高校入試	
6 木		↓	
7 金		● 所内会議⑬	
8 土			
9 日			
10 月			
11 火		・ 県立高校追検査	
12 水		↓	
13 木			
14 金		・ 県立高校入試合格者発表日	
15 土			
16 日			
17 月			
18 火			
19 水			
20 木	春分の日	春分の日	春分の日
21 金			
22 土			
23 日			
24 月		・ 県立高校二次	
25 火	第12回教育委員会議		
26 水		・ 県立高校二次合格発表	
27 木			
28 金			
29 土			
30 日			
31 月			
	授業日数：13日 学年末休業日は町規則で示した日程 (3/21～3/31)		

令和6年度 西和賀の教育

令和6年6月 発行

西和賀町教育委員会
岩手県和賀郡西和賀町川尻 40-40-71
電話 0197-82-2116
